
五月晴れ

真崎麻佐

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

五月晴れ

【Nコード】

N0647C

【作者名】

真崎麻佐

【あらすじ】

フラれたオレの目の前には、雲一つない真つ青な五月晴れの空だけ。ああ、泣きたい。

（前書き）

『五月晴れ』（広辞苑より）

一、五月雨の晴れ間。梅雨の晴れ間。

二、5月の空の晴れわたること。

この話では二の意味で使っております。

もうすぐ六月になる、五月晴れの日。オレはフラれた。かれこれ2年も付き合ってた彼女に。晴れ渡った空がオレの気持ちを察してくれる気配は無かった。

「好きな人が出来たの」

何て明快な理由だろう。オレはただポカンとすることしか出来なかった。彼女は悪びれもしない。オレに魅力がないのが悪いって言われてるみたいだ。これって只の被害妄想？

泣きたい。とにかく泣きたい。なのに泣けない。オレのなけなしのプライドが邪魔をする。人に見られたらどうするんだ！ああ、何て無駄なプライド。お前、今頃顔を出してどうするんだ。もっと他にタイミングがあっただろう？

空を眺める。いつもはしない。可哀相な男、を気取ってみたい。多分キマってないだろうけど。青い空が目染みる。

「高田くん！」

ニヒヒ、と嫌味な笑いを伴って、同じ学科の眞鍋が声を掛ける。

「なに？」

「あれ？泣いてない」

キョトと不思議そうな顔をした。

「なんで？」

「だって春美にフラれたんでしょお？」

「……」

眞鍋は春美と仲が良い。というか、付き合うキッカケを作ってくれ

たのは彼女だった。

「告白した時に泣いてたから、別れた時も泣くんだと思ってさ」
「嫌な女」

眞鍋はそお？とまたニタリと笑った。そうだ、確かにオレは告白時に泣いた。勝手に涙が出たんだ。女々しいと思う。だけど安心したんだ、嬉しかったんだ。仕方ない。

「泣く訳ないだろ、いい年した大の男が」

「そおかなあ？可愛いじゃん、おっきな体した人が泣いてんのって」
「変な趣味」

オレはバタリと倒れ込んだ。目の前には雲一つない、真っ青な空のみ。

「春美のこと、嫌いになった？」

「はあ？」

「だってフラれたんだもんねえ」

「何が言いたい」

「いやね、フラれた人はどうやって立ち直るのかと思ってさ」

眞鍋もオレの隣に倒れる。二人して大の字になる。

「高田くんの場合、まず春美を嫌いになるのになって」

オレは黙ってる。

「それで淋しくなって泣くのかなって」

「……」

「でもどうやら違ったみたい。高田くん、泣いてないんだもん」

「だって悔しいじゃんか」

ポソリとオレは小さく零した。眞鍋はチラリとこちらを見た。

「オレはまだ春美のことが好きなのに」

「……やっぱねえ。高田くんが春美を諦められる訳ないし」

春美ってば幸せ者ゝなんて言いながら、眞鍋は体を起こした。体は起こしたけれど、目は相変わらず空を見てる。暫く黙ったままだった。そして急に口を開いた。

「あ、そか。高田くんはこの五月晴れつてのに慰められてるのよ」

「はあ？何バカなこと言ってるんだよ」

眞鍋はバツと空を指差した。そしてオレの方を向いてニヤリと笑った。

「空は泣かない。だから高田くんも泣かないのね」

「はあ？意味わかんねえよ」

「うん、私もわかんない！いいのいいの。気にしないで！」

眞鍋は立ち上がって、さっさと退散してしまった。半身起き上がったオレは、ただその後ろ姿を見ているしか出来なかった。

『高田くんはこの五月晴れつてのに慰められてるのよ』

そうなのか？よく分からない。でも一つ、これだけは確かだ。

もし今日が梅雨の雨の中だったら、オレは絶対に泣いてただろう。

（後書き）

ギリギリ季節に間に合いました。間に合ったのかな？よろしければ
評価／感想をお願いします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0647c/>

五月晴れ

2010年10月14日17時31分発行